

年間報告

第54代理事長 中山 稔之



2014年度は「Do your best」のスローガンのもと、明るい豊かな社会の実現に向けて青年会議所運動に取り組みました。

1年を振り返ると、西大寺青年会議所を代表して日本青年会議所はもとより岡山ブロック協議会での議決権の行使、そしてLOMにおいて、様々な経験をさせていただき、またその中で多くの方々とお会いし、学ばせていただくことができました。そしてそれと同時に、常に理事長という役職の重みを感じる年でもありました。

事業では、第43回少年はだか祭りを開催となりましたが、子ども達の祭りに対する意気込みと、争奪戦での力強さを間近に感じ、地域の大切な伝統行事となっていることを誇りに思いました。

また、地域活性化事業では秋に吉井川フェスタの開催を予定しておりましたが大雨の影響により開催を断念いたしました。しかし準備段階の過程においてメンバーの強い結束力と、地域を何とかしたいという熱い想いを見させて頂きました。

また、来年に控えた創立55周年準備として、シニアクラブの設立に向けて歴代理事長会議の開催をさせて頂くことも出来ました。歴代理事長の先輩の皆様へ、多大なるご理解を頂きましたことに深く感謝を申し上げます。

不連続の連続と言われる2014年の青年会議所運動は、終わりを迎えます。しかし、今までのようであったように、次の代にまた次の代にと青年会議所運動は繋がっていきます。その54代目を務めさせていただき、そして2015年度に無事繋ぐことができ、本当に嬉しくそして誇りに思っています。最後に、特別会員の皆様、地域の皆様、そして現役メンバーに心からお礼を申し上げまして、理事長報告とさせていただきます。本当にありがとうございました。

岡山国際青年商會（台湾）来訪

9月5日～6日



9月3～6日の4日間、台湾より中華民国岡山国際青年商會（姉妹JC）13名の皆さまが来岡されました。3～4日
児島青年会議所様へ訪問され、5～6日は、西大寺青年会議所に本年度も訪問されました。

2日間と短い間でしたが、牛窓の地等へ招待させて頂き、交流をさらに深めさせて頂きました。

長きに亘りこの友好を50年100年と続けられるように、今後も交流を続けて参りたいと思います。

広報誌編集部

Do Your Best

全国大会

10月11～12日





先日の10月11日(土)、12日(日)に第63回全国大会松山大会に参加してまいりました。私自身初めての松山の地、初めての全国大会ということで行く前から非常に楽しみにしていました。全国大会では小室哲哉さん・坂本美雨さんのサプライズライブがあり、卒業生が懐かしいと感じるような曲を披露してくれたり、鈴木会頭の一年間の映像には当青年会議所の三枝監事が登場されたりと、とても楽しかったです。また卒業生代表挨拶では日本JC古川大司顧問が本当に素晴らしい挨拶(八幡浜青年会議所ブログに全文掲載)をされ卒業生だけでなく現役会員である私も涙が出そうになりました。またこの挨拶を聞いて自分が卒業までにどれだけのJC運動が出来るだろうか、どれだけの事に挑戦が出来るだろうかと改めて考え直す機会となりました。自分が卒業するときに泣いて、笑って卒業できるようにこれからも様々なことに挑戦し成長していきたいと思わせてくれた素晴らしい全国大会でした。

Do Your best

会員の和委員会
副委員長 柴田潤哉

OB懇親会

11月14日



中山理事長挨拶



吉永先輩 特別会員代表挨拶



乾杯風景



歓談風景



新会員アトラクション



本年度卒業生挨拶



2015 年度役員紹介



若い我ら斉唱

2014年11月14日、西大寺グランドホテル様の一室をお借りして2014年度OB懇親会が開催されました。沢山の特別会員の皆様に参加していただき盛大に懇親会を開催することができました。

本年度は、新会員のたつての希望により新会員によるアトラクションを催しました。事前より新会員があつまり練習をしてきた踊りを披露し場を盛り上げてくれました。

特別会員の方と現役会員が懇親を深める数少ない機会の一つとして大変貴重な時間が過ごせたと思います。当日、先輩方からお伺いした貴重なお話やアドバイスをして頂いたことを今後のJC運動に繋げていきたいと思っています。

ご出席いただきました特別会員の皆様、本当に有難う御座いました。今後とも宜しくご指導、ご鞭撻いただければと思います。ありがとうございました。

会員の和委員会 福江 寿史

12月例会

12月10日



理事長挨拶



年間委員会報告



バッヂ交換式

2014年度最後の例会ということもあり、多くのメンバーにご出席を頂き心より感謝を申し上げ、ありがとうございました。また本年度は副理事長の皆様からも個々に総括を頂きました。副理事長の立場は、きっと普段は『縁の下の力持ち』的な存在かと思います。年間の例会を通じても、前へ出て発表することもないので担当副理事長にならない限りは人となりも伺えません。本当に地味な上に監督責任もあるという大変な役職だけに今機会
で思いが聞けた事は個人的には大変よかったですと感じました。

何はともあれ、この事業を持ちまして青少年育成委員会の2014年度事業は全て終了いたしました。この一年間共に頑張っておられた委員会メンバー一同に心より感謝です。改めて1年間お疲れ様でした。

青少年育成委員会 藤原辰徳

2014年度卒業式

12月10日



スポンサーとの記念撮影



理事長からの祝辞



卒業証書授与



スポンサー(中村先輩)よりの祝辞



スポンサー(山本先輩)より花束の贈呈

入会以来『卒業式』には、何よりも強い思い入れがありました。それは所謂 JC 歴が 1 年であっても、何十年であっても、それまでの運動に感謝し敬意を表すことが出来る最初で最後の事業であるからです。卒業生の皆様は JC 運動を続けていく上で、ご卒業を迎えるまでに必ず、また少なからず、ご家族やお仕事を犠牲にされて来られたと思います。そうまでして運動を続けて来られた卒業生には絶対に厳かにまた格式高く花道をお創りするのが、残されたメンバーの責任と思ってきました。この度、ご卒業となりました三枝監事、赤木直前理事長、高木委員長、には今日まで大変お世話になりました、ありがとうございました。三枝監事はまさに『背中で語る』方でした。愚痴も弱音も吐かず、ただ黙々とまた確実に目の前の事をなしていく姿に、本当に感銘を受けました。また赤木直前理事長におかれましては来年度もお世話になりますので、今まで変わらぬ厳しい中にも優しさの溢れるご指導をもう一年賜れば、うれしく思います(笑)最後に高木委員長は本年、2委員会を受持たれるなど、大変にお忙しい1年になられたのではないかと容易に想像できます。然し乍、持前の実行力、指導力でこの難局を乗り切られました。その大変に優れた能力には感服いたしました。残る現役メンバーの一人としてお三方の勇姿を胸に刻んで、今後も JC 運動に邁進して参ります。卒業、誠におめでとございました！

青少年育成委員会 藤原辰徳

12月10日、例会と卒業式が開催されました。12月例会では各メンバー1年間の報告をしました。メンバーそれぞれの思いを発表し、今年1年間を振り返れることで来年に向けて意欲を高められた事と思います。そして次年度に向けて理事長バッジ交換式が行われましたが坪井次年度理事長予定者も理事長職の重みを感じられた事と思います。また委員会アワーの時間には2014年度卒業式が行われ3名が卒業生の功績を称えた内容で行われました。また卒業生からは、「JCにいる時間を一生懸命、大事に過ごしてください。」等の言葉を頂き、残るメンバー一同改めて身の引き締め、頑張っていかなければならないと感じました。

広報誌編集部

2014年度・卒業生からの一言

赤木 朋央君



二〇〇七年十月に西大寺青年会議所に入会させていただき、七年間を青年会議所メンバーとして運動・活動してきました。

七年という長いようで短かったJC生活は私の人生の中で忘れることの出来ない歴史の一ページになりました。二年間の委員長経験の中では継続事業の大切さを初め、委員会メンバーを纏める力、縦社会の厳しさや事業をする上での綿密な計画や打合せなど基本を勉強させていただきました。その後副理事長を一年、翌年には専務理事を務めさせていただきました。色々ありましたが、二〇一三年には第五三代の理事長を拝命することが出来ました。理事長職での一年間は多忙な一年でしたが充実した一年になりました。

JC生活でお世話になりました関係諸団体の皆様、特別会員の皆様、青年会議所メンバーの皆様、迷惑を掛けた家族や社員には感謝申し上げます。

七年間本当にありがとう御座いました。

高木 宏太君



2011年に入会して約4年間、西大寺青年会議所は私に多くのものを与えてくれました。中でも一番の財産はやはり人との出会いでありました。先輩、後輩、同期と多くの人と出会い、JCのことだけでなく様々なことを教えていただきました。自分の町への想い、この国への想い、様々な想いが湧きあがるようになりました。尊敬できる人ができ、その人たちが発信する言葉を聞き、自分でも発信することにより、より深く考えるようにもなりました。このような経験はJCに入会していなければ味わうことはなかったと思います。

これで卒業とはなりますが、現役メンバーの皆様一言卒業生として伝えたいと思います。とにかく何でもやってみてください。やれない理由を探すより、やれる方法を考えてみて下さい。やったことは自分の身になり何一つ無駄になることはないと思います。

皆様に支えられ無事卒業できること、大変感謝しております。4年間、本当にありがとうございました。

三枝 克守君



入会から9年。いよいよ卒業を迎えることとなりました。様々なことを学び、多くの方と出会うことができた9年間でした。

入会当初、漠然と事業に参加していた当時に比べると、随分成長できたのではないかと感じます。特に考え方や意識が大きく変わり、青年会議所活動以外においても、以前より物事に取り組む姿勢が積極的かつ具体的に内容が伴うものになりました。

また青年会議所を通じて、特別会員の先輩方や同世代のLOMメンバー、県内各地の青年会議所メンバーや地域の方など、多くの方との繋がりができました。青年会議所に入会していなければ、決してその機会を得ることがなかったであろう、多くのご縁をいただきました。これは大きな財産であり、青年会議所を卒業してもこの繋がりを大切にしていきたいと思います。

短いようで長く、長いようで大変長く内容の濃い9年でしたが、苦楽をともにしてきたメンバーをはじめ、ご指導ご支援をいただきました全ての皆様に、心から感謝を申し上げます。9年間本当にありがとうございました。

新会員紹介

木村 和明君

9月1日入会



初めまして、2014年9月入会致しました木村和明と申します。西大寺は地元では無いので詳しくありませんが、微力ながらお役に立てる事があればと思い入会致しました。入会して3ヶ月が経ちましたが、まだまだ分からない事の方が多いですので、色々と優しい先輩方に教えて頂き一步一步前に進んでいき、少しでも早くお力になれるよう頑張りたいと思います。

「JCは大人の学校見たいな物」とお聞きし大学に行っていない私は「JC大学」に入学したと言うリフレッシュな気持ちで残り4年間JCと言う素晴らしい環境の下、色々な方との出会い、ふれあいそして学びを大切にしてJC運動また自分自身の成長が出来たらと思います。

至らない点が多々あると思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

田渕 裕賀子君

9月1日入会



初めまして。9月入会させていただきました田淵裕賀子と申します。

入会して間もないですが、会員の先輩方に親切にいただきカンチャン来日や五福レトロ祭り、モミジヤフットサル練習会など毎回楽しみに参加しております。今はまだ勉強不足で失礼やご迷惑をお掛けしてしまうかもしれませんが西大寺青年会議所に所属したことを誇りに思い、学び、精神的成長し、視野を広げられたらと思っております。

最後に偏った参加しか出来ない私の入会をお許し頂いて感謝申し上げます。微力ながら尽力邁進したいと思っております。これから宜しくお願い致します。

会員結婚情報

國本秀範君♡順子さん御結婚おめでとうございます。



10月11日、メンバーの國本秀範君の挙式が行われました。多くのメンバーが駆けつけて、お二人にお祝いの言葉をかけさせて頂きました。今年はメンバー2組目ということで、なんともおめでたい1年となりました。末永くお幸せに！！

発行日 平成26年12月吉日

発行責任者 中山 稔之

編集責任者 岡崎 将明

編集員 柴田 潤哉